


ふりがな 氏名	かわはら なほこ	都道府県	兵庫県	
	河原 奈穂子			
所属/肩書	株式会社フェリシモ 生活雑貨調達グループ 兼 チケット事業部 兼 しあわせ共創部/主任			
私の ESD活動	ボーダーを超えて繋がり、尊重し合える社会実現のための国際理解・地域貢献			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

現在、所属する企業の、海外雑貨全般の輸入調達業務を担当しております。

そのなかで今回ご紹介したいのが、「みんなの地球村」という事業です。

当事業は、アジアを中心とした発展途上国の生産者ともに企画生産したアイテムを輸入販売する、フェアトレードビジネスの形をとっています。単に生産できた数だけを販売する、というものではなく、オリジナルで開発した商品が、その魅力を失わない新鮮なうちに、購入希望者全員にお届けしたいという想いから、受注と生産を同時並行で行っているため、受注数が多くなると必然的に、安定した品質確保や生産管理の実現がとて難しくなります。

この事業の調達担当を引き受けた以後は、この両立のために、過去の実績を洗い出し、受注予測の精度を上げることに尽力したり、商品の販売媒体を制作するチームと協力体制をつくることで、在庫リスクを最大限回避したり、企画段階での会議にも積極的に入り込み、生産背景や受注数に応じて可能になる対応を事前に徹底的に話し合うことで、予測以上の受注が来た場合にも即座に対応できる生産体制づくりに努めました。

結果、1年間で販売された約40点の商品に対し、98%以上の安定供給を実現できたのですが、この時、自らがビジョンの創造・改革を行うことで、私の夢である「個性を尊重し、差を認めあい求めあう社会の実現」に微力ながらも働きかけることができるかもしれないと思いました。

上記はまだ、その実現のための土台にすぎません。次なる目標は、自らの業務範囲や発展途上国と日本間のフェアトレードビジネスにこだわらず、世界中の国々が各地の得意分野を活かし、お互いの文化を象徴し合えるような生産・デザイン・流通網を開発することです。今回様々な分野でご活躍されている方との交流のなかで、更なる発展のヒントをいただければと思っております。

・みんなの地球村 Facebook: <https://www.facebook.com/earth.felissimo>

・みんなの地球村: http://www.felissimo.co.jp/kraso/v14/cfm/products_list002.cfm?wk=68584

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

私たち若者には、地球というたったひとつの惑星の中で、何らかの状況を良くしたいと願い、同じような想いを持って各地で活動する仲間をつなぐ、「媒介者」としての役割があると思っています。

国・地域・言語・性別・宗教……世界には様々なボーダー（見えない壁）が存在し、それが時に争いの種となっています。しかし同時に、古くから変わらない人間の情や、新しいものならオープンメディアのように、その壁をやすやすと超えて、互いが求める限り、世界中の人が容易に協力し合える状況にあることも確かです。

世界各地にもいる同じ志を持つ人たちが、ボーダーを超えてその取り組みを互いにサポートし合える環境や場をつくること＝彼ら同志を繋ぐ「媒介者」となることが、これからの時代を生きる若者が担うべき役割なのではないでしょうか。